Ⅳ. 研究成果の刊行に関する一覧表

1. 論文発表

1）Haga N, Fujitani J, Kobayashi T, Fujiwara S, Tsujimura H, Shirahoshi S, Tanabe A: Secondary musculoskeletal disability and rehabilitation aspects in adults with thalidomide embryopathy: A narrative review. Intractable Rare Dis Res, 14(3): 175-182, 2025.8

2. 学会発表

1）Akiyo Tanabe. Metabolic disorders in congenital limb deficiencies. ENDO2025, SanFrancisco, 2025 年 7 月

2）小林毅、藤原清香、藤谷順子、芳賀信彦、田辺晶代: サリドマイド胎芽症者のいま－生活実態調査（2022年）から－. 第 16 回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会、2025.6.20-22、札幌（札幌コンベンションセンター、札幌市産業振興センター）

3）矢野綾子、中村隆、三ツ本敦子、山崎伸也、三田友記、今井大樹、大熊雄祐、芳賀信彦: 先天性片側上肢形成不全児の断端における長軸方向の成長に関する調査. 第 41 回日本義肢装具学会学術大会、2025.11.8-9、新潟（朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター）

4）藤谷順子.サリドマイドラえもん　四次元ポケットの中身.特別企画 4 アイディア善用手作りのリハビリテーション医療.第 62 回日本リハビリテーション医学会学術集会.京都.6 月 12 日-14 日.2025.

5）石田千晴.木下雄介.水口寛子.守山有由美.西原将太.神戸莉菜.藤谷順子.サリドマイド胎芽症者支援への作業療法士の参画～生活支援と個別対応への展開.第 79 回国立病院総合医学会.口演.石川.11 月 8 日.2025.

3. 著書

1）Hinoshita F. 3.4 Japan: Thalidomide-Embryopathy in Japan, **3** Zulassung von Thalidomide im Ausland. *In Basiswissen Contergan*, edited by Christina Ding-Greiner, pp. 58-70. Kohlhammer, Stuttgart, 2026

4. 総説

1）日ノ下文彦. 事件から 60 年 サリドマイド胎芽症と薬害 ― 過去の問題ではない 今知ってほしいこと, 京都を知ろう医史編 薬害研究に携わった医師. 京都保険医新聞 3200:2-3, 2025 ― 2025 年 8 月 25 日刊

5. 新聞掲載

1）日ノ下文彦. サリドマイド薬害和解 半世紀 ― 二次障害に追加補償を. 京都新聞朝刊, 8 面, 2025 年 10 月 24 日掲載